

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2019.11.1 November vol.157

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



より良く生きるためのリハビリ

病院で、地域で、

生活を支える当院のリハビリ

「リハビリ」の言葉から多くの方が思い浮かべるシーンは、平行棒につかまっでの歩行訓練や、筋力の落ちた手足を動かすトレーニングといった運動機能の訓練でしょう。実際にケガや病気の後や介護予防でリハビリを受ける方は多く、ご自身やご家族の体験がイメージを形成しているといえます。

人工呼吸器や人工透析を必要とする入院患者さまと地域の高齢者を主な対象とする当院のリハビリテーション科では、また違うシーンが見られます。疲れを出しやすくする手技から自宅改修の助言まで幅広い領域に関わって、患者さまやご利用者さま、ご家族の日々の生活をより良くするためのリハビリを提供しています。

漢字の言語圏でリハビリを「康復」「復原」「復健」「再活」などの文字で表すように、リハビリは健康的な生活の回復や再生が目的。今号の部門紹介では、その第一線に立つリハビリテーション科を取り上げます。



部門紹介 PART 5

リハビリテーション科

呼吸・透析・通所・訪問の4分野で担当分け

質を上げるために全員で切磋琢磨

専門知識を深め、治療技術を高めるだけでなく、聴く力や提案力も重視。体調や生活環境をしっかりと把握し、最適なリハビリを提供しています。

専門性を高めて 特性ごとに4部門

当院のリハビリテーション科（以降、リハ科）には、理学療法士12名、作業療法士3名、言語聴覚士3名が所属しています。当院の特色に応じてリハビリを4分野に分け、それぞれに担当職員を置いていきます。



人工呼吸器装着の入院患者さまのリハビリ

呼吸リハビリ

手技や装置で排痰を促したり、呼吸療法や訓練で人工呼吸器の離脱に取り組むなど、人工呼吸器装着の入院患者さまに行うリハビリです。多職種による呼吸ケアサポートチーム（RST）があり、病棟などの他部門と協力しながら、患者さまの命に直結する呼吸のケアを行っています。

研修にも積極的に、札幌呼吸ケアネットワーク（SRCN）に参加し札幌医大の勉強会に隔月で参加。リハ科内でも独自カリキュラムで呼吸リハビリの基礎を学ぶ3カ月研修を実施し、「最終的にはリハ科全員に受けてもらい、科全体でリハビリの質を上げたい」と、指導役の山崎雄喜理学療法士は話します。



透析中の患者さまにリハビリ

透析リハビリ

「当院では、人工透析を受けている時間を利用したりリハビリを透析リハビリと呼んでいます」と石川美穂子作業療法士。寝た体勢のまま下肢や体幹のストレッチや筋トレ、今夏導入の「エスカルゴ」という電動サイクルマシンで寝ながらペダルをこぐ運動などのリハビリを行っています。

通所リハビリ

デイケアに通われるご利用者さまに提供するリハビリです。ストレッチや筋トレ、歩行などの基本動作訓練を中心に、リハ科職員4名で毎日約40名のリハビリを行っています。

リハビリメニューは生活支援を目的に組まれるため、「ニーズを知るため自宅での生活の様子を聞き取るコミュニケーションがなにより大切」と松野克宏理学療法士。送迎の職員らの話も聞き、ご利用者さまの状態や生活の把握に務めています。収集した情報は手すり設置の助言といった住まい環境の調整でも発揮されています。



デイケアご利用者さまのリハビリ

訪問リハビリ

リハ科職員5名で約70名を担当し、自宅を訪ねて必要なリハビリを提供しています。

「直接ご自宅にお邪魔できる唯一のリハビリスタッフ。新たな気づきなどにも多いです」と高功樹理学療法士。信頼を維持するため、あいさつや言葉遣いなどには特に気を付けていると語ります。

ご利用者さまの自宅環境やリハビリで目指したいことは百人百様です。筋トレなどの治療から福祉用具での生活改善まで領域も広く、さまざまな関係者が関わるためプラン実践には調整力も必要。科内では隔週で多様なテーマの勉強会を設け、学びを深めています。



排痰を補助する装置「カフアシスト」

学びの意欲を高める 適材適所の担当配置

リハビリの専門職も医師や看護師などと同じく、進化する医療技術を取り入れ情報を最新に更新するために、自ら学ぶ積極性が求められます。

「スタッフのモチベーションを高めるのが私の仕事」と川美千代科長。専門性の異なる4分野には、職員一人ひとりの関心や適性に応じて担当者を配置し、個々の成長を促しています。



リハ科内での呼吸リハ研修

リハ科の新スタッフ

7月1日から2名の職員がリハ科に加わりました。回復期リハで11年勤務した新岡真美言語聴覚士は、呼吸リハに強くなりたいと当院へ転職。地域包括ケア病棟などで7年勤務し、呼吸療法認定士の取得を目指す小山裕之理学療法士も、呼吸リハの現場経験を求めて当院に転職。向上心を持って仕事に取り組み姿勢が、リハ科の士気を高めています。



小山裕之（こやま ひろゆき）
理学療法士



新岡真美（にいおか まみ）
言語聴覚士

※似顔絵とコメントは入院されていたALSの患者さまの作。

透析リハビリ



石川美穂子作業療法士

呼吸リハビリ



山崎雄喜理学療法士

訪問リハビリ



高功樹理学療法士

通所リハビリ



松野克宏理学療法士

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

敬老の日の行事に今年も参加

介護保険の 講話が好評



当院は、豊平第18分区町内会が敬老の日に開催する「敬老を祝う会」に毎年参加しています。今年は、当院居宅介護支援事業所の今野博史所長による介護保険についての講話と、リハビリ科職員による骨密度測定を行いました。

9月16日(月)、会場の豊平会館2階には高齢の方を中心に50名ほどが出席。今野所長はポイントを明快にしてわかりやすく解説し、さらに興味がわくような話題も提供。講話後は質問を求め多くの手が挙がり、これまでに以上に活発な質疑応答となりました。



職員リレー エッセー

選択肢の多い街

総務課
横山 将輝
【よこやま しょうき】

私の地元は山と畑に囲まれた田舎町です。自然豊かで空気はきれいで環境は良かったのですが、コンビニへは徒歩15分以上かかり、スーパーはとても歩いてはいけない距離。工場技術職から転身を願っても、地元には成長の選択肢がありませんでした。

ところが、札幌への転居を視野に入ると、選びきれないほど職があり、念願の病院勤務がかないました。外から見ると、札幌はたくさん
の職と夢がある
素敵な街です。
お住いの皆さん
にも同じ思いを
もっていただけ
たならとてもう
れしいです。



送迎付き 企業健診のお知らせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金
4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822

URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平 日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土 曜] 9:00~12:00

面会時間 [平 日] 14:00~20:00
[土 日 祝] 12:00~20:00

